

射水郡伏木

堀田家文書目録

【分類】	件数	点数
① 近世	38	46
② 近代 株券	11	11
③ 近代 地券	30	30
④ 近代 電報	12	18
⑤ 近代 仕切書	80	84
⑥ 近代 商業	354	935
⑦ 近代 印刷物	8	8
⑧ 近代 文芸	17	18
⑨ 近代 その他	152	160
⑩ 近代 地図	75	88

合計	777 件	1398 点
----	-------	--------

※他に通No.486詳細目録と番外(封筒・断簡等)が52件184点、図書が103件126冊ある。

解題(堀田家略史)

国際的視野を持った芥川賞作家・堀田善衛(1918～98)は、富山県高岡市伏木の廻船問屋「鶴屋」の出身である。北前船が伏木港に帰って来たらその家はもとより、町全体が賑わう様子は善衛の短編『鶴のいた庭』(昭和32年)に活写されている。北前船交易のピークは明治前期にあった。その時代の堀田家、及び縁戚で同じく廻船問屋の八坂家(車屋)の米・繰綿・鰯肥などを取引したそれぞれの家の多くの古文書が残っており、共に当館に寄贈された。

堀田家の家系伝承は古く、始祖は興国3年(1342)に越中入りした後醍醐天皇皇子・宗良親王に随従したという(八坂家も同様)。当主は代々「善右衛門」を名乗った。史料での初見は元禄6～11年(1693～98)、伏木村の肝煎として登場する(仮に初代とする)。2代は享保7年(1722)の「伏木出船奉行書上」によると、「地舟宿」であり、手船を所有している。3代は同史料に寛延2年(1749)に「八軒問屋」筆頭に登場する(のち七軒問屋)。4～5代あたりの享和2年(1802)、放生津柴屋彦兵衛の奥州木材を江差から伏木へ運送している。なお、堀田家の屋号(標章)は「ヤマイチ」である。

6代(八郎平/生没1826～1905年)は「中興の祖」といわれる。堀田家娘と車屋金平の二男である。慶応3年(1867)時点の持船は6艘(明治15年に3艘)であった。6代は同4年、藩から産物方に、また明治3年、能登屋三右衛門(藤井能三)・車屋金兵衛と共に国の「開拓史北海道産物会所」の用達商に任命されている。

ちなみに、5代の娘もとは富山県射水市(旧大門町)の稲垣又平に嫁ぎ、その子は自由党系の代議士・稲垣 示(1849～1902)で、その妻は6代善右衛門の娘八重である。示の政治活動を支援したり、その子、篤を一時伏木の堀田家(分家)に住まいさせるなどその縁は濃い。

6代は近代資本主義の波にのり、明治29年(1896)に伏木銀行を創立し、頭取に就任した。取締役は八坂金平(6代の兄)と堀田善九郎(6代の三男)である。同33年(1900)当時、6代は廻漕問屋を経営しつつ、他に伏木港船荷問屋組合代表取締役、伏木問屋(資)社長なども務めている。7代(善五郎/1846～1924)は伏木銀行頭取、北陸人造肥料(株)取締役、硫曹商会(合)社員、伏木新倉庫監査役、新湊鉄工所監査役、伏木貯蓄銀行取締役、伏木殖産銀行取締役などを務めた。最後の善右衛門の8代(呉吉/1870～1934)は旧福野町(現南砺市)の酒造業山田家から入婿した。明治40年(1907)金沢仙石町(香林坊)に教育用品商を創業。昭和3年、楽器運動店として合資会社となる(善衛の金沢二中時代(同6～8年)の一時期、ここに下宿する)。

善衛の父・堀田勝文(1885～1952)は高岡市吉久の野口忠五郎四男(野口家は吉久の御蔵番役人)。慶應大学理財科卒業後、明治44年(1911)、くに(7代四女)と結婚、堀田家へ入婿。くにと勝文は夫婦で8代・いく(7代長女)夫妻の養子となる。伏木湊町の「堀田善右衛門商店」を新築移転し、家業に務めるが、大正末期に倒産してしまう。しかし勝文は伏木港の発展を考え、大正13年(1924)、伏木海岸(湊町～岩崎沖の約43h)を埋め立て、外港築港を構想、申請する。昭和元年(1926)、伏木土地埋立会社創立。同3年着工。しかし激浪が予想以上で直ぐに計画縮小。同10年、予定の2割しか埋め立てられず会社を解散し、下請の飛島組(現飛島建設)に後事を託す。さらに勝文は政治家に転身する。昭和8年(1933)、伏木町長となり、伏木港拡築、高岡市との合併を唱える(同17年に共に実現)。のち県会議員(同9～22年)となり、同15～17年は県会議長となった。勝文はその他に県商工会連合会長、伏木町商工会長、射水郡農会長などに就任。教育にも関心が深く県伏木商業学校(現伏木高校)に満蒙館をつくりロシア語や中国語を正課とする新しい教育方法を試みた。また射水郡連合青年団長や中越運輸(株)、越中倉庫(株)、日本海運輸(株)の重役にも就任していた。

また勝文の妻くには大正15年(1926)、県内初の私設託児所を開設した人物である。

(仁ヶ竹亮介)

《主要参考文献》

正和勝之助『越中伏木湊と海商百家』桂書房、1995年。

伏木港史編さん委員会編『伏木港史』伏木港海運振興会、1973年。

中西聡氏越中史壇会講演会「越中の北前船主と地域の産業化」レジュメ(2018/11/4)。

堀田善衛の会(会長 丸山珪一氏)作成資料。